



中央聖書神学校の経済は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団立の神学校として教団と教団所属の諸教会の献金によって大半が賄われています。神学校が健全に運営されるためにも経済の確立は、大切な要素です。そして献げられた献金が主の働き人を育て、送り出す使命をもつて使われることが求められるのは、当然のことです。

神学校においても学校経営の感覚が求められます。そのためには、学校に関わる全ての者にさらに経済的感覚が必要です。世間では経済評論家が経営者として有能かというと必ずしもそうとは言えません。現場の経営者の方が余程、経済感覚をもっていることがあります。神学校の働きがさらに主のみこころに適



川口神召キリスト伝道所牧師
中央聖書神学校 事務主任
安田 眞

つた働きとなるようにそれぞれが神学校の経済を再確認することが必要ではないでしょうか。

第一に、神学校の目的が何であるかを再認識することです。そんなことは解つていと言われそうですが、解つても出来ないこともあります。解つてもしていないこともあります。また、何をしてよいのか分からないということすらあるかも知れません。教団、諸教会と神学校に共通認識があるのか、再確認する必要があります。神学校の働きも多岐にわたっています。本校の本科、通信科、関西分校、ろう者聖書学校などの全てが学校の働きであり、教団の働きです。

第二に、神学校に関わるすべての者がその職分を十分に自覚するということです。教団や神学校の理事がその働きが何であるか。自分の置かれた立場がどのようなものであるのか、をはつきりと認識する必要があります。また同じように運営委員にも教授にも、教師にも求められます。そして、学生にも当然その認識

が求められます。

第三に、各自が神学校の経済を知ることも必要ではないでしょうか。神学校全体を経済的観点から見る必要があります。健全な精神は、健全な肉体に宿るとよく言われますが、神学校教育が健全な経済によって支えられるからです。

今日、世界経済も大きな危機に面していますが、神学校も決して例外ではありません。世界経済は人の営みであり、そこに信仰の入る余地がありません。愛が土台にもなっています。しかし神学校が聖書のみことばを土台とし、愛によって満たされ、信仰によって進められる神の働きです。主の栄光が顕わされる場所です。まさしく、聖書に書いてあるとおりです。「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである(第一コリント二章九節)」という体験をするところではないでしょうか。

学校の動き (2010年4月~9月)

【論集委員会】4月27日
【神学校理事会】5月31日~6月2日、8月30日31日
【60周年フォーラム】6月7日
【実務委員会】6月29日、8月10日
【夏季派遣】7月11日~8月30日
【教師研修会】7月12日~14日
【ATA40周年記念総会】8月2日~6日
【WAPTE総会】8月23日~27日
【教師会】9月3日 【教授会】9月13日
【オープンキャンパス】9月23日 【運営委員会】9月24日
*ハイムス・ダビデ師 University of Walesにて
哲学博士号 PhD(旧約)取得 7月12日
*安富信也氏 絵画寄贈 7月29日



編集後記

創立60周年を迎えたCBCは、「共有性」「透明性」「公共性」「機動性」を柱として、新しく歩み始めました。CBC ニュースもその第一歩として、全国諸教会の皆様、神学生ひとりひとりの顔と名前を知っていただき、祈っていただけるような紙面作成を心がけました。より良い紙面作りのために、ご意見、ご感想、ご要望などをお聞かせ下されば幸いです。私事で恐縮ですが、広報部部長としての御奉仕もこの発行をもってほぼ終わり、感無量です。広報部の活動を導き支えてくださった主と、皆様から感謝いたします。

3年 毛利 佐保

2010年後期授業担当教師

火曜日
▼ギリシア語Ib/新約研究IV(黙示録) 白石信之師
▼聖書解釈学/ギリシア語III/組織神学V 大坂太郎師
▼個人伝道法/実践神学特講 野川悦子師
水曜日
▼組織神学I/新約研究III(ローマ書) 菊地和博師
▼ヘブル語Ib ハイムス・ダビデ師
▼旧約聖書背景 安田眞師
▼教会音楽通論 三上かをり師
木曜日
▼教会史II 三宅規之師
▼旧約研究II(詩歌書) ハイムス・ダビデ師
▼牧会論 久保田潔師
▼ペンテコステ運動史 鈴木正和師
▼宣教学通論 北野ジョイス師
金曜日
▼組織神学III/聖書にみるリーダーシップ 船津信成師
▼説教II 菊山和夫師 ▼英語II 高橋恵子師
土曜日
▼キリスト教教育通論 三上友通師

＝お詫びと訂正＝

2010年5月号CBCニュースにおいて以下の項目に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

本校入学試験

問早期:2010年11月3日(水・祝)

正早期:2010年11月2日(火)



献金者ご芳名(2010年4月~9月)

一般献金【教会】天塚キリスト教会 嘉手納アッセンブリー教会
シャロンキリスト教会 東京陽光基督教会 浜松キリスト教会 福山キリスト教会
町田聖書教会 御影神愛キリスト教会
【個人(敬称略)】
新井建子 石原嘉宣 内村茂子 大江励 大坂太郎・智子 大森樹子 菊地恵子 菊山和夫
北野耕一 小池力夫 小石豊・崎子 中村眞佐子 原田和人 吉永豊・咲栄 渡辺喜平
ダビデの石奨学金献金【関東東北東教区】大島キリスト教会 狭山キリスト教会
中央福音教会【関東南西教区】武蔵野基督教会 【東海教区】天塚キリスト教会
【関西教区】尾崎基督教会 【四国教区】中村福音キリスト教会
【九州教区】佐伯聖書キリスト教会



CBC NEWS

・2010年10月号・

編集スタッフ(広報部)

毛利佐保・新井晴美

高山咲・森本亮介

田原聖二

編集責任者:野川悦子師

事務局:中央聖書神学校

オープンキャンパス

2010.9.23 (木・祝)

参加者と共に集合写真(食堂にて)



- 一日の流れ
- 9:00 授業Ⅰ
『ペンテコステの伝道者』
講師:菊地 和博師
 - 10:00 チャペル
説教:北野 耕一師
 - 11:00 授業Ⅱ
『古代イスラエルの礼拝』
講師:ハイクス・ダビデ師
 - 12:00 校内案内
 - 12:30 歓迎昼食会
 - 14:00 オリエンテーション



今年は9名の参加者(教職者1名を含む)に恵まれ、終始和やかな雰囲気で行われました。神学校ではどのように過ごしているのかを知っていただくため、学生が受けている授業と毎朝のチャペルの時間を設けました。昼食会の交わりの中では更に具体的な質疑応答の時間や、証しなどの機会も与えられ、大変有意義な時間を持つことができ、感謝いたします。「実際に神学校を訪れ、授業に参加し、学生や教師と交わる中でイメージが変わった」と、話す方もいらっしゃいました。

今後もこのオープンキャンパスをより充実させていきたいと学生一同願っています。(広報部・高山)

参加者 8名 教師 8名 職員 3名 学生 17名
食事ボランティア 4名 計 40名

ATA 認定校 中央聖書神学校入学のご案内
校長 北野 耕一
入学資格: 高卒以上、召命の確信がある方
【本校入学試験】 早期: 2010年11月2日(火)
通常: 2011年2月22日(火)
【願書〆切】 早期: 2010年10月26日(火)
通常: 2011年2月15日(火)
【通信科入学試験】 2011年3月12日(土)
【通信科願書〆切】 2011年3月5日(土)
【通信科スクーリング】

2011年1月31日(月)~2月5日(土)
本校・通信科 お問い合わせ先
〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
Tel:03-3918-4925 Fax:03-3918-4064

よ 感謝します
あなたの存在を教えてください
あなたがいつも共にいてくださって
あなたが日々導いてくださって
主よ 感謝します
昨日の悲しみは過ぎ去りました
主よ 感謝します
あなたの平安で満たされました
あなたの喜びで満たされました
あなたの力で満たされました
主よ 感謝します
見えなかったものを見せてくださって
感じなかったものを感じさせてくださって
分からなかった事を悟らせてくださって

2年 大笹 月江

静心

夏期派遣の恵み

今年も7月10日~8月30日にかけて、16名の神学生が全国各地に派遣され、それぞれの恵みを頂きました。今回はその内、3名の証しを紹介致します。

明石キリスト教会

3年 森下真理子

夏派遣前半、関西の明石キリスト教会で学ばせていただきました。教会の子どもキャンプには46名の子供たちが集まり、よく遊び、力の限り主を賛美しました。

キャンプの計画とリードはユースメンバー。毎週祈り、備えているリーダーの姿がありました。食事作り、遊びのプログラムなどを教会メンバーが支えながらのキャンプ。

子ども達が神様と出会い、神



明石キリスト教会

子どもキャンプにて
(森下神学生 話し手)

の子として力強く歩んでいくために、教会の一人一人がそれぞれの立場で関わり、そこに起こされた魂の救いの業を見させていただきました。
教会派遣は実践の場、伝道牧会の姿を見せていただける貴重な体験となります。祈り支えてくださる多くの兄弟との出会い、50年以上の牧会経験を持つおられる先生方との交わりにより学ぶ時を主が与えてくださったことを感謝しています。

フィリピン派遣

2年 関本英樹

今年の夏季派遣でフィリピンに行けた事は、海外宣教の思いを持って学びを続けていた私自身にとつて、大変貴重な経験となりました。

現地では平野部と山岳部という違う生活スタイルの場所に滞在しましたが、どの地においても聖霊の豊かな働きを肌で感じる事ができました。現地では急な予定変更が多く、突然のラジオ出演や、葬儀で御言葉を語る事を依頼されましたが、予定外の出来事の先にも神様の計画があることを知り、焦らずに神様に信頼することの大切さを学ぶ事が出来ました。

また、日々農村の教会や集落で御言葉を語る中で、神様により頼み、喜びに満たされ、助け合うて生きている現地の人々の信仰を見て、自分自身の信仰も励ま



イブガオ教会の集落

(関本神学生 後列左二人目)

され、このような地で御言葉を語り、教会を建て上げていきたいという、強い思いが新たに与えられた事は大変感謝な事でした。この貴重な経験をこれから学びに活かしたいと思っています。



夏派遣は、四国教区にある九つの教会の内、六教会を巡回し、良き学びと訓練の時を頂いた。私は今年入学したばかりで、母教会以外の教会をほとんど知らない。その上、人見知りで気が利かない。しかし、四国の先生方、兄弟方は、そんな私を快く受け入れてくださった。

「生涯学びなさい。」「たった一人のために。」「みことばはそのまま語りなさい。」「裏表を使うな。」「遠慮しないでもつと食べなさい。」「このキュウリはうちでとれたのよ。」どの先生のことばも思い出深く残っている。

地方教会ならではの困難、悩みがある。今回学ばせていただいたのは、そのほんの一部にすぎない。しかし、ここで開拓し、当然苦勞されたと思われるある先生

1年 田嶋聖二



中村キリスト教会
ファミリーキャンプにて
(田原神学生 後列左一人目)



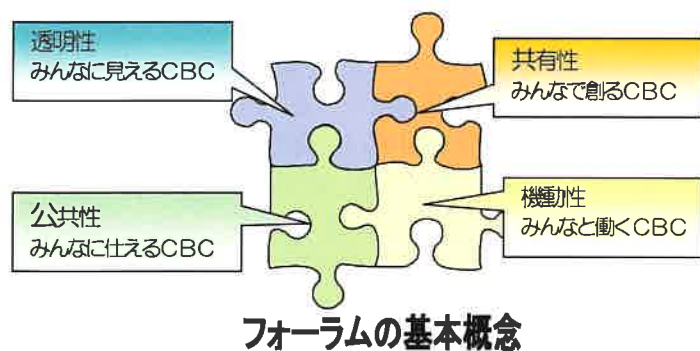
は、長年の伝道牧会を振り返り
こう言われた。
「主のなさることは、すべて時
にならって本心に美しい。」

創立60周年記念フォーラム開催される

3年 杉本茂謙

6月7日、中央聖書神学校の創立60周年を記念してフォーラムが開催されました。「イノベーション・フォーCBC」と題して、「働き人が少ない」といわれる課題を「共有性」「透明性」「公共性」「機動性」という4つのテーマで、これからのCBCをどうすればよいかに、教団・教区・教会・神学校が一緒になって考えました。午前は佐々木正明学校理事長による基調講演、そして、午後からは教団理事、教区長、学校理事、学校教師、神学生、信徒という立場から、それぞれ代表者が意見を述べました。神学校に対する熱い思いを持った69名の方々が集まり、くださり活発に意見が交わされました。

この記念フォーラムを通して神学校に対する大きな期待を改めて感じると同時に、私たち神学生にとって、今できることは何だ



ろうか、これからの神学生のために何を継承していくべきだろうかというなどをより深く考える良い機会となりました。

全国の諸教会の皆さまの祈りと、ささげものによって、神学校が支えられ、素晴らしい学びの時間が与えられていることを心から感謝します。

主に仕えるための学びと訓練に励み、共に神学校を建て上げていけることを願っています。

伝道活動

中央聖書神学校では、学生たちが様々な伝道活動を企画していますので、ご紹介いたします。

聖学院高校男子部

1年 神山茂紀

今回私たちは聖学院高校男子部のチャペルの時間を使わせていただき、伝道集会をもちました。集会の内容は、『人間の罪からの救い』をテーマにした賛美、スキット、メッセージです。

賛美においては高校生ひとりひとりが喜んで神さまを称える姿を見ることができ、スキットやメッセージにおいても、真剣なその眼差しは実に印象的でした。

また、そこに集った約九割方の高校生たちはクリスチャンではないということに驚かされ、現実を見せられた気がしました。私たちはそのことを重く受け止めて魂の救いのために尽くしていかなければならないと決意を



誠志会病院訪問

1年 杉浦麻衣子

感謝して、聖志会病院伝道の証をさせていただきます。病室



6/21(月) 聖学院高校男子部チャペルにて
前列中央右: チャプレン中川寛師
前列中央左: 北野耕一師

新たにされた、素晴らしい時となりました。



6/2(土) 誠志会病院チャペルにて 中央: 岡田信良院長
中央右: 誠志会病院チャプレン蓮根バプテスト教会主任牧師
高木康俊師 最後列右: 同教会副牧師 堀野浩嗣師
中央左: 長屋勇師

に入り、はじめに賛美をしました。入院されている方の中には手を叩いて、ともに賛美してください。短い時間でしたが、聖書を開き、お祈りもさせていただきました。

チャプレンの高木先生から、「重症の方でも、耳は最後まで聞こえていますから、反応がなくても福音を語ってください」とご指導いただきました。院長先生と多くの教会の先生方が力を合わせて魂の救いのために御奉仕されている姿を拝見し、「どのような時・場所・状況であっても、魂の

上野公園伝道

学生有志で上野公園に聖書とギター、炊き出し用のおにぎりを持参して、主を賛美し、みことばを語る集会を開いています。主イエスの十字架の恵みによって社会が真の希望で満ちあふれますよう、また、今後の伝道活動のためにもお祈りください。

(広報部 森本)



上野公園の集会の様子
現在は隔週金曜の午後活動しています

私たち神学生のために お祈りください



現在中央聖書神学校には、本校に通う本科生が16名います。しかし今までは、どんな学生がいるのかという具体的な情報が少なく、「神学校が遠く感じる」「名前と顔が一致しない」「謎に包まれているので、どのように祈って良いのかわからない」などの声が寄せられていました。そこで今回は、16名1人1人の名前、顔写真と、① 出身教会 ② 2010年度前期(4月～9月)日曜派遣先の教会名 ③ 2010年度後期(10月～3月)日曜派遣先の教会名を掲載することにいたしました。このページをはずして貼っていただき、祈りに覚えて下されば幸いです。

また、本科生の他に、関西分校で2名、通信科で14名の神学生が学んでおります。合わせてお祈りいただければ感謝です。

(広報部 毛利)



3年 杉本茂謙(すぎもとしげのり)
①千葉福音キリスト教会
②新中野キリスト教会
③川口神召キリスト伝道所



3年 立木秀和(たちきひでかず)
①博多ニューライフ教会
②神召キリスト教会
③大船神召キリスト教会



3年 森下真理子(もりしたまりこ)
①三木アガペー教会
②東京メトロチャーチ教会
③新中野キリスト教会



3年 毛利佐保(もうりさほ)
①日本基督教団 亀有教会
②川崎中央福音教会
③金沢基督教会



3年 成尾輝和(なるおてるかず)
①めぐみ福音キリスト教会
②大船神召キリスト教会
③めぐみ福音キリスト教会



2年 関本英樹(せきもとひでき)
①十条基督教会
②港南シオンキリスト教会
③多摩ヒルサイドチャーチ



2年 高山 咲(たかやまさき)
①札幌神召キリスト教会
②多摩ヒルサイドチャーチ
③志村キリスト教会



2年 森本亮介(もりもとりょうすけ)
①東京陽光基督教会
②つくばICA
③エヴァグリーンキリスト教会



2年 大笹月江(おおさつきえ)
①山手町教会
②川口神召キリスト伝道所
③港南シオンキリスト教会



2年 岸本志津乃(きしもとしずの)
①沖縄中央アッセンブリー教会
②めぐみ福音キリスト教会
③東京メトロチャーチ教会



2年 新井晴美(あらいはるみ)
①中央聖書教会
②練馬キリスト教会
③川崎中央福音教会



1年 杉浦麻衣子(すぎうらまいこ)
①大和リバイバル教会
②大和リバイバル教会
③中央聖書教会



1年 山城良美(やましろよしみ)
①那覇アッセンブリー教会
②志村キリスト教会
③杉田キリスト教会



1年 神山茂紀(かみやましげのり)
①嘉手納アッセンブリー教会
②杉田キリスト教会
③大和リバイバル教会



1年 下道 恵(したみちけい)
①札幌神召キリスト教会
②ベテルキリスト教会
③神召キリスト教会



1年 田原聖二(たはらせいじ)
①中央聖書教会
②中央聖書教会
③サンライズのぞみ教会



神学校生活を通して

2年 岸本志津乃

この神学校で寮生活をしながら、日々、学びと訓練に励んでおります。そして多くのことを学ばせていただいています。

神学校での生活は、常に集団生活をしているので、お互いの良いところや悪いところも見えてきます。そのような中でも互いに思いやり、仕え合いながら生活することはとても訓練になります。

時には周りの人と自分を比べてしまい、自分自身の弱さ、足りなさ、醜さを思い知らされ落ち込むこともあります。しかしそのような欠けの多い私であっても、神さまは憐れみ、励まし、用いてくださろうとしていることを、御言葉を通して、また学生生活を通して教えていただいています。

祈りのリクエスト

*神学生たちの3年間の学びと訓練が守られますように
*霊肉ともに強められますように
*すべての必要が満たされますように
*将来への明確なビジョンが与えられ、伝道者としての召しにふさわしい備えができますように



中央聖書神学校後援会からの報告とお願い

後援会会長 多 田 睦 夫

ハレルヤ！

主の聖名を心から讃美致します。

いつも、中央聖書神学校後援会の働きのためお祈り頂き、心から感謝申し上げます。みなさまにおかれましては異常気象が続いておりますが、主の御護りの中、霊肉共に強められ、主の証人として歩まれておられることと存じます。

政変もあり、リーマンショックはいまだ収まらず、領有権は熾り続けており、平穏な生活は望めそうにもありません。そんな社会に向かって、わたしたちは、主の証人として福音を宣べ伝える使命が与えられているのです。さらに、その使命を果たすため、リーダーとしての伝道者、牧師が求められているのです。主の召命に応え、立ち上がった方々に対して、良い訓練がなされる中央聖書神学校存在の意義は大であります。

かつては米国などのクリスチャンによる捧げ物により、支えられていた中央聖書神学校はいまや、大半がわたしたち日本人クリスチャンの捧げ物によって支えられているのです。教団は総会に於いて神学校の必要のために毎年予算を組み、その運営を支えております。しかし、それですべての必要が満たされているとはいえないのが現状です。

中央聖書神学校の働きは、
“これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によって”(ゼカリヤ4:6)
と宣言される主のお働きであります。この主のお働きに加えられた幸いを感謝しましょう。この働きにこそ皆さまのお祈りと捧げ物が求められているのです。伝道者、牧師、宣教師を世に送り出す働きを担う中央聖書神学校のために、引き続きお祈り(創世記17:11)と御協力をお願い致します。

なお、10月末の会費納入は、目標120万円に対して50万円となっております。年末を控えておりますので、会員の方々は何卒早めの会費納入をお願い致します。また、信仰の友に後援会への入会をお勧め頂ければ幸いです。

後援会の試みとして関東北東、南西教区でボランティア登録制度を開始致しました。この制度は経済的支援だけではなく、人的支援も共に神学校のためにしていきたいとの思いから始められたものです。この制度が後援会の活動としてさらに発展し、神学校の働きの一助となれば幸いです。

間もなくクリスマス、皆さまの上に神さまの祝福が豊かにありますよう、お祈り致しております。

在 主

* 入会手続き、会費(個人1口5千円、法人1口1万円)納入についてご不明の点がございましたら、神学校事務室までご連絡下さい。